




～測定業務の合理化提案～



五光社メルマガ VOL.41



いつも弊社メルマガをご愛読いただきまして有難う御座います。

今回は品質管理の測定業務を効率化するためのツールをご提案致します。

測定業務の効率化にはいくつかの方法があります。

以下にいくつかのアイデアをご提案致します。

①自動化技術の活用:

センサーやIoT デバイスを活用して、製品やプロセスのデータをリアルタイムで収集し、自動的に品質を測定するシステムを導入します。

自動検査システムや画像認識技術を利用して、製品の欠陥や不良を自動で検出することができます。

②データ分析とAIの活用:

大量の品質データを分析し、品質のパターンや問題を特定するために人工知能（AI）や機械学習を活用します。これにより、問題を迅速に特定し、解決策を提案することができます。データを活用して予防保全を行い、品質問題を未然に防ぐことができます。

③品質管理プロセスの改善:

DMAIC（Define, Measure, Analyze, Improve, Control）サイクルやPDCA（Plan, Do, Check, Act）サイクルなどの品質改善手法を使用して、効果的な品質管理プロセスを構築します。品質測定のための適切な指標を設定し、重要なポイントを集中的に測定することで、効率化を図ります。

④訓練と教育:

従業員に適切な品質管理のトレーニングを提供し、品質測定スキルや知識を向上させます。ベストプラクティスや新しい技術について定期的に教育し、従業員の意識を高めます。

⑤供給者との協力:

サプライヤーとの協力関係を強化し、品質を向上させるための共同作業を推進します。サプライヤー側に品質基準を共有し、共通の基準に基づいて品質を測定する仕組みを構築します。

これらの手法を組み合わせることで、品質管理の測定業務を効率化し、製品やサービスの品質向上につなげることができます。今回はこれらの取り組みの第一歩となる商品をご紹介します。



- ・面倒な測定データの手書きをなくしたい
- ・入力ミス・転記ミスをなくしたい
- ・パソコンから離れた場所の測定器からデータを取り込みたい
- ・メーカーの違う測定器のデータを1枚のシートに入力したい



上記のようなお困り事に

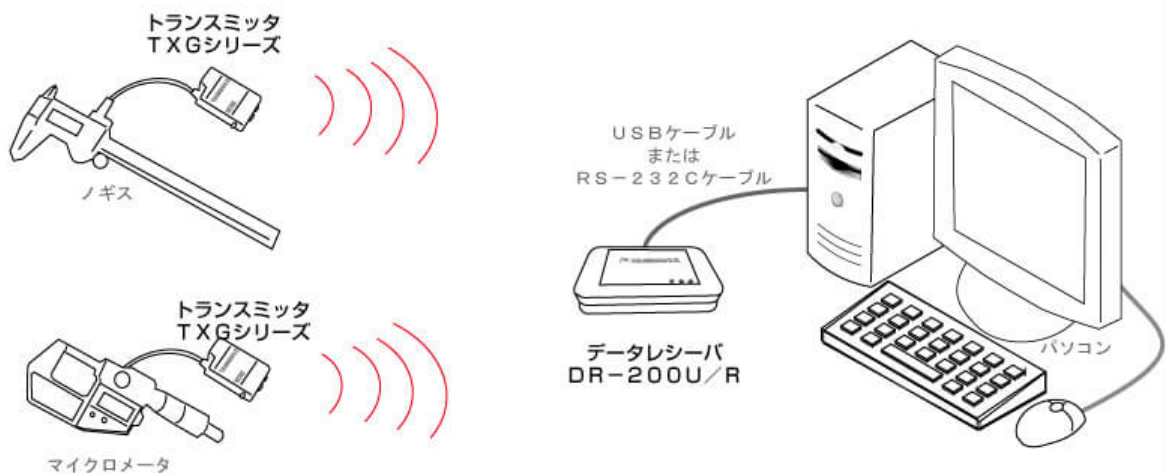
・ **テレメジャーⅡ（測定データ無線受信機器）**

テレメジャーはデジタル測定機器に無線送信器（トランスミッタ）を取り付けて、パソコンに接続された受信機（データレシーバ）を経由し、測定データをパソコンに自動入力するためのシステム機器です。

テレメジャーⅡは、世界共通周波数の2.4GHz帯を使用、通信距離もテレメジャーの約5倍、受信機番号の設定で、最大12800台の測定機器を識別することができます。

なんとと言っても

いろんなメーカーの測定器に接続ができるので検査表作成も簡単にできます！



デジタル測定器にトランスミッタ（送信器）を接続し、ボタンを押すと測定データが無線で送信されます。

受信したデータをパソコンに取り込みます。

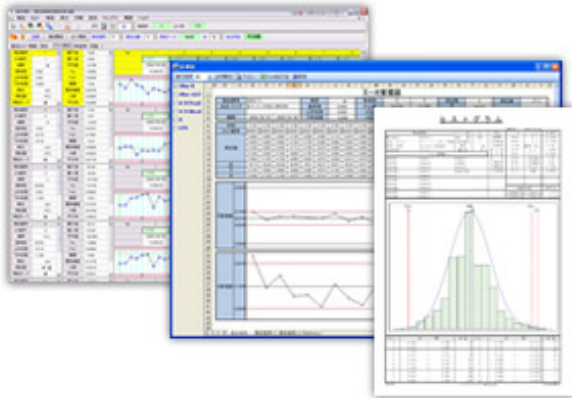
テレメジャーⅡの詳細はVECTRIXのホームページを参照ください。

左記の画像をクリック！



・測定データの活用

データとして取り込んだ数値は検査成績表や各種QC管理帳票の作成がスピーディに、しかも確実にできるSPC対応の品質管理のためのソフトウェアです。詳しくは下記画像をクリック！



デジタルの測定器から無線を使って、パソコンのエクセルに直接、測定データを入力するシステム“テレメジャーⅡ”と入力した測定データの合否を自動判定するエクセルのアドインソフト“QC PRO EX Plus”のデモンストレーション動画です。



お問い合わせ、ご希望がございましたら五光社へご連絡下さい。

お問い合わせはこちらから

お電話でのお問い合わせは下記へ！

【TEL:042-554-0224】



X・Youtube
配信しております！

X(旧Twitter)

Youtube